

協議体事務局だより

第 1 号 令和3年10月20日発行



伊勢崎市社会福祉協議会では、伊勢崎市（地域包括支援センター）から生活支援体制整備業務の委託を受け、第1層・第2層協議体の生活支援コーディネーター（SC）を配置し、さまざまな地域の皆様の参加を得て、地域の支え合い活動を推進するためのチームとして「協議体」を共に進めています。

ただ、残念ながら昨年来、新型コロナウイルスの影響により協議体の休止が続いており少人数の打合せは一部の協議体で行えたものの、皆様と顔を合わせる機会がほとんどなくなってしまっているのが現状です。

そこで、少しでも地域の活動を紹介しながら情報発信と情報共有ができればと思い、このたよりを発行することになりました。皆様にお読みいただければ幸いです。



～ ベルク「とくし丸」の移動販売が始まりました ～

以前、いくつかの協議体でご紹介したことがありました“移動スーパー「とくし丸」”の移動販売が、伊勢崎市でも開始されました。それぞれの店舗を拠点に担当地域を限定し軽自動車に商品を載せて、ご自宅や施設を1軒1軒訪問しながら販売します。

併せて、伊勢崎市と(株)ベルクで地域見守り活動に関する協定が締結されました。

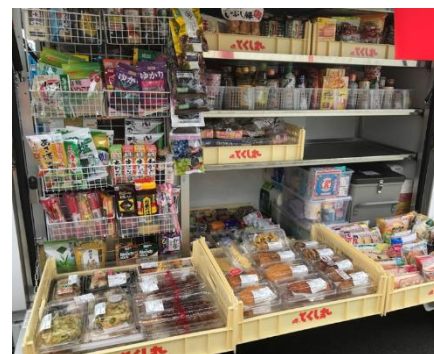
高齢者の見守り活動を強化するため、(株)ベルクと協定を締結しました。この協定の締結により、(株)ベルクの移動販売事業を通じた高齢者の見守り活動が始まります。市は、市民の皆さんが住み慣れた地域で安心した生活が送れる環境の整備を推進します。

問い合わせ 高齢政策課(☎272752)

地域見守り活動に関する協定を締結しました



移動スーパー
「とくし丸」



広報いせさき 令和3年9月1日号より抜粋

●伊勢崎寿町店：吉田さん（9月から営業開始中）
両毛線より北 ⇄ 国道50号線より南の地域
（北・殖蓮・三郷・赤堀・あずま地区の各一部）

●伊勢崎美茂呂町店：遠藤さん（11月頃営業開始予定）
（茂呂・宮郷・名和・豊受・境地区の各一部）

～「コロナ禍の地域の情報」について～

第2層協議体SCが参加者数名の方から聞き取りました地域の状況について、その一部を紹介します。

①地域の活動の現状について

- ・会議所が使えず、ミニデイ、居場所等ができない。
- ・老人クラブなどの団体も活動は、ほとんどできていない。
- ・警戒度によって会議の開催方法も変えている。
- ・行事もないので、電話する機会やコミュニケーションも減っている。
- ・活動ができていた時は、当たり前のことでしたが、やれない今は、活動の大切さややりがいに気付くことができた。
- ・回覧の回数が減り居場所のお知らせも出せていない。

③活動の工夫、代替えの活動等について

- ・外で自主的に集まりラジオ体操をしているのを見かけた。
- ・町内で支え合い活動が始まり、何人かを訪問している。
- ・居場所は休止しているが、参加者にお手紙を出しました。
- ・屋外のグラウンドゴルフ等は実施出来ているので、こうした場を活用して交流を維持している。
- ・散歩中に会った方へのあいさつ等は積極的にするように心がけている。

②協議体や地域の活動の再開について

- ・再開してほしい。決まった人としか会っていないので、いろいろな方と情報共有をしたい。
- ・条件や環境が整えば、一日でも早く活動したい。
- ・コロナに対してナーバスな人もいる。
- ・無理をせず、今は足踏み状態でもよいのでは。
- ・ワクチンの効果が時間の経過とともに弱くなる点も含め、完全に収まってからでないと活動は難しいのでは。
- ・コロナが良くなって安定した頃にやるのが良いと思う。

④オンライン会議等について

- ・パソコンやスマホがあっても自分では難しい。
- ・オンラインのできる環境、システムが整っている人は、少ないのでは？
- ・ワクチンの予約も家族にやってもらった人が多い。
- ・やってみたいけれど使い方がわからない。



※すでに多くの方から回答が届いておりますが、先日送付のアンケートのご協力もお願いいたします。

～ 令和3年度 生活支援コーディネーター☆SC（社会福祉協議会所属）を紹介します ～



※(新)は、令和3年度から新しく配置されたSCです。よろしくお願いいたします。

～地域活動のさまざまな情報をぜひ生活支援コーディネーター☆SCまでお寄せください。～

事務局：社会福祉法人伊勢崎市社会福祉協議会 地域福祉推進課 電話 25-4546